

二学期の始業式では、まず夏休みを振り返りつつ、地球温暖化について話をしました。

「地球の大気圏は、地上約百キロあり、そのうち人間や動物が生存できる層は、地上約十キロ程しかありません。十キロは、直線距離ではりま一宮小学校から宍粟市役所までぐらいです。それぐらいしかない空気の層の厚さを、学校にある地球儀（直径二十四センチ）で考えてみると、大気圏の厚さが2ミリ程で、五百円玉の厚さぐらいになります。さらに、人や動物が生きていいける空気は0.2ミリほどがあるのは、引力が空気を引っ張っているからで、いかに地球の大きさに比べて空気の層が薄く、貴重なのかがわかります。地球に空気な空気ができるだけ汚さず、さらに温暖化を

暑さ忘れて陰忘れず

校長 浅田 和典

今年も暑い暑い夏が終わろうとしています。ここ数年、夏が終わる度に同じような感想を校報に書かせてもらっています。今年は、梅雨が六月に明け、お盆前に豪雨が日本列島を襲い、まさに異常気象の夏でした。蒸し暑い四十度近くの気温に、息苦しさを感じました。いよいよ地球が「待ったなし」と声をあげているように感じます。

この猛暑の中でしたが、子どもたちは夏を工夫して楽しく過ごしたようです。ただ、外出を控えた児童も結構いたようでした。地域の皆様には、見守りやお声かけ等を通して子どもたちを温かく支援していただき、誠にありがとうございました。

The image shows a vertical banner for a school newspaper. At the top is a blue stylized flower logo with the text 'はりま' (Hirim) inside its center. Below the logo, the word '校報' (Kaiho) is written in black. The bottom half of the banner features several pink cherry blossom flowers scattered across a white background.

第83号  
宍粟市立  
はりま一宮小学校

# 学校教育目標

## 「ここに豊かにたくましく 自ら学ぶ児童の育成」

### 本年度のテーマ

猛暑の話に戻りますが、実は七月の始めから、学校の職員室と事務室、校長室のクーラーが壊れて使えなくなりました。急速、教育委員会や他の学校から扇風機や簡易クーラーなどを貸していただきましたが、蒸し暑い職員室で、放課後の打ち合わせや授業準備、通知表の作成等を行いました。扇風機でしのいでいたときの室温は三十五度を超えて、扇風機から送られる熱風に体力を削られました。そのような暑さで困つていると、突然、中学校の先生方が冷風機を汗だくになりながら運んできてくれました。困っているときに、身を挺して持つてきてくださった心遣いが身にしみ、本当に嬉しく思いました。お陰で体感温度が下が

進めないようにするために、自分たちにできることは何かを考えてほしいと思ひます。人がいない部屋の電気を消したり、水の節約をしたりして、温暖化を防いでいきましょう。

次に、二学期について話をしました。「二学期は最も長い学期で、運動会や学習発表会、修学旅行や各学年の活動があり、いろんな活動を通して自分たちが成長できる学期です。この夏、阪神タイガース元監督矢野さんの講演会があり、お話を聞くことができ、その話に感動しました。そこで、人が成長するために大切なことをそのお話を引用して三つ話します。（中略）『自分を信じる』『誰かのために』『感謝』ということについて話をしました。二学期の様々な活動に、自分から進んで取り組み、前向きに頑張つてほしいと思います。」

## 行事予定

9がう

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 15日(月) | 敬老の日             |
| 21日(日) | 秋の全国交通安全運動(~30日) |
| 23日(火) | 秋分の日             |
| 24日(水) | 運動会リハーサル         |
| 27日(土) | 秋季大運動会           |
| 29日(月) | 振替休業日            |



# 10がつ

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 1日(水)  | 口座振替日<br>貯金日(低)    |
| 2日(木)  | 貯金日(高)             |
| 3日(金)  | 移動図書館(2・6年)        |
| 9日(木)  | 修学旅行(6年)           |
| 10日(金) | 修学旅行(6年)           |
| 13日(月) | スポーツの日             |
| 22日(水) | 就学時健診              |
| 23日(木) | しそう森林の探検隊(4年)      |
| 24日(金) | 理科おもしろ実験講座(5年)     |
| 27日(月) | 炭焼き体験(3年)<br>クラブ活動 |
| 29日(水) | 講師招聘研究授業(3年)       |



PTA奉仕作業

八月二十四日（日）に、運動場の土入れ・溝掃除・窓拭き・くもの巣取り・ベランダ掃除等の奉仕作業をしていただき、学校が美しくなりました。暑い中、本当にありがとうございました。

り、何とか夏を耐え凌ぐことができました。また、強い日差しの中、業者の方々が急ピッチで工事をしてくださいなり、様々な方々のお力添えのお陰で、お盆前に新しいクーラーが使えるようになりました。

このことを通して、普段当たり前のようになっていた物のありがたさを再認識しました。さらに、人の優しさや支援に感謝すると共に、地球温暖化の深刻さを痛感しました。

九月になつて、最近ではいくらか朝晩の気温が下がり、これまでの暑さとは少し違つてきました。さらに今後涼しくなつてくると、人間は苦しかったときの大変さや、人から受けた恩を忘れてしまいがちになります。記録的な暑さという問題が解決したかのように勘違いし、温暖化防止の取組の必要性も忘れかねません。

「暑さ忘れて陰忘る」ということわざがあります。暑いときは、木陰の涼しさに感謝するけれど、暑さが過ぎ去るとそのありがたさや恩を忘れるという、人間の忘却性を指摘した言葉です。そのようになるのは、次の目標や課題達成のために努力することを優先してしまうからかもしれません。

ただ、それでは人や物のありがたさ、問題の解決について、軽く捉えてしまっていることになってしまいます。

同じような意味のことわざとして、「喉元過ぎれば熱さ忘れる」「雨晴れて傘を忘る」「病治りて医師忘る」などがあります。様々な場面で、弱い自分を戒め、改めていきたいと思わせてくれる言葉です。

二学期も、子どもたちが、明るい気もちで、楽しく充実した学校生活を送ることができるように、日々の教育活動に邁進していきます。地域の皆さんには、引き続き二学期も本校教育の推進に、ご理解とご協力を願いします。

